

「野菜流通カット協議会」入会のご案内



国産野菜の振興のために、一緒に取り組みませんか？

平成27年5月に新たに誕生しました野菜流通カット協議会の会員として皆様にご入会いただき、国産野菜生産の振興及び流通の効率化、安全性及び品質の確保・向上、消費の拡大等を図るため、共に活動して参りたいと存じます。

入会に際しては、別紙「野菜流通カット協議会会員入会申込書」に必要事項をご記入の上、協議会事務局(一般社団法人 日本施設園芸協会)まで、郵送にてお送り下さい。



本会の会費は、
1会員 12万円/年額

◆令和4年度「水田農業高収益作物導入推進事業(全国推進)」報告書

野菜流通カット協議会は、農林水産省の助成を受けて、加工・業務用野菜の生産や流通の合理化・効率化を図り、国産の加工・業務用野菜の安定供給、輸入野菜からの国産野菜へシェア奪回に資することを目的に標記の事業を実施し、令和4年度の活動内容を「水田農業高収益作物導入推進事業」報告書にとりまとめ配布しています。

* 主な掲載内容は以下のとおり

- ・ホクレン長沼研究農場視察&セミナー(北海道)
- ・加工・業務用野菜の情報交換会セミナー(東京)
- ・スマート農業圃場視察&セミナー(石川県)
- ・園芸作物転換強化事業実施地区への現地ヒアリング調査(岩手県、京都府、三重県、愛知県)
- ・新生成田市場視察&セミナー(千葉県)
- ・ブロッコリーのフローレット歩留まり検証および栄養価の評価
- ・加工・業務用ブロッコリーの流通実証試験結果報告
- ・新型コロナウイルス感染症の影響調査
- ・冷凍野菜の取り扱い実態調査
- ・事業成果発表会の開催……等々



◆農林水産省補助事業の中で過去作成した加工・業務用関連マニュアルも多数ありますのでご参照いただければ幸いです。過去のマニュアルや各年度毎に実施しました、セミナーテキストなども野菜流通カット協議会のホームページに掲載していますのでご利用ください。

◆令和元年度における「カット野菜製造の実態」

加工・業務用野菜の需要拡大が続く中で、当協議会において、カット野菜製造の実態を明らかにするため、平成2年から3年に1回の頻度で実施しているアンケート調査を令和4年度における「カット野菜製造の実態」として実施し、その調査結果をとりまとめ、令和3年3月発行・販売しています。【定価:1,000円(税別)】

令和4年度における「カット野菜製造の実態」は、今年度調査予定！令和6年3月発行予定！

◆加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドライン2020

野菜流通カット協議会は、令和2年度補助事業の中で、2013年に発行した加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドラインの内容を見直し、さらに近年の取引状況を反映し、実際の取引にご活用いただけるよう、新たに「加工・業務用野菜標準基本契約取引ガイドライン2020」を作成し、令和3年3月より配布を行っています。



◆「加工・業務用野菜の生産・流通の手引き」～主要品目の事例集～

平成29年度補助事業の中で、平成22年に発行した、加工・業務用野菜需要への取組に向けた「品目別・用途別ガイドライン」の全面見直しを行い、加工・業務用野菜の効率的かつ安定的な生産・供給に向けて、主要10品目の新しい生産・調製方法や出荷形態等のほか、貯蔵に関するデータ等を品目別に紹介しています。



◆「水田利用の園芸作物転換技術導入事例集」

令和3年度補助事業の中で、平成27年に発行した、「水田利用(転作・裏作)の野菜栽培優良取組事例」の続編として作成を行い、今回紹介する7事例はそれぞれ抱える課題は異なりますが、地域の特色を生かし、様々な技術を取り入れながら、関係機関連携のもと産地化の取組を推進している事例を紹介しています。



◆「冷凍野菜産地事例集」

令和4年度補助事業の中で、令和5年3月に発行した、「冷凍野菜産地事例集」は、加工・業務用野菜の原料生産から加工・販売まで一貫した取り組みを行っている全国6カ所の事例を取り上げ、産地の概況、取組みの経緯、製品の状況、加工・出荷の状況、今後の計画・展望などで構成した内容を紹介します。



令和5年(2023)度版



VEDICA 野菜流通カット協議会
Vegetables Distribution and Cutting Association

野菜流通カット協議会について

近年、野菜の需要形態は、家計消費から加工・業務用へ大きくシフトしています。このような情勢の中で、時代の要請に応えるべく、農林水産省のご指導の下、平成27年(2015)5月に従来の青果物カット事業協議会と野菜ビジネス協議会の両協議会を統合して、新たに「野菜流通カット協議会」を設立いたしました。本協議会は、青果物の流通・加工事業関連業界の健全な発展に資することを目的として、加工・業務用野菜を中心とする青果物の生産者との共生を図りつつ、その生産の振興及び流通の効率化、安全性及び品質の確保・向上、消費の拡大等を図るため、必要な調査研究、指導、情報活動等に関する事業を行っています。



木村 会長

特に、平成27年度からは継続して、野菜流通カット協議会が農林水産省の加工・業務用国産野菜等の安定供給を図るため補助事業の事業実施主体となり、加工・業務用国産野菜サプライチェーン構築に積極的に関わっています。

さらに本協議会では、青果物の需要形態の変化等に対応した我が国における青果物の新たな生産・流通・貯蔵システムのあるべき姿について調査・研究を重ね、得られた成果を農林水産省へ政策提言等を行い、予算等に反映していただくような活動も引き続き行っていきます。

事務局は一般社団法人 日本施設園芸協会内にあります。



活動内容について

- 加工・業務用野菜等青果物の生産、流通、加工等に関する調査研究
- 加工・業務用野菜等青果物に関する基準の策定及びその普及指導
- 加工・業務用野菜等青果物に関する情報の収集及び提供
- 加工・業務用野菜等青果物の生産の振興及び流通の効率化等に関する事業の実施
- その他協議会の目的を達成するために必要な事業



会員

会員企業 69社

(有)アグリサポート・(株)旭物産・(株)アドワンファーム・(株)伊藤食品・ヴィルモランみかど(株)・大阪八百勝・(株)尾野農園・カゴメアグリフレッシュ(株)・(有)かねやま・(株)関東ダイエツクック・倉敷青果(株)・(株)クリハラ・(株)ケーアイフレッシュアクセス(株)・(株)健食・(株)五條市青ネギ生産組合・こと京都(株)・(株)彩喜・(株)サカタのタネ・(有)佐賀東部青果・サトウ産業(株)・サンポー食品(株)・(株)サンロジスティクス海津・(有)四位農園・(株)庄定・(株)須崎青果・(株)誠孝・(株)清浄野菜普及研究所・全国農業協同組合連合会・(株)大果・田形青果(株)・タキイ種苗(株)・(株)T & E・デリカフーズホールディングス(株)・東果大阪(株)・東京シティ青果(株)・有限責任監査法人トーマツ・(株)トップラン・豊通食料(株)・ナラサキ産業(株)・成田食品(株)・(株)浜松ベジタブル・(株)ハローワーク・(株)ピオテール・(株)ひらた・(有)ひるがのラファノス・フードプロセス(株)・(株)ふくれん・(株)フルックス・(株)フレックス・フレッシュ・フーズ・(株)フレッシュおの・(株)フレッシュベジ加工・(株)ベイ・コマース・(株)ベジアークス・(有)ベッツ・(株)豊彩・(株)北研・(株)前川博之商店・(株)マルタ・(株)マルト商事・丸西産業(株)・(株)マルマサフード・宮崎県経済農業協同組合連合会・ミヤジフーズ(株)・(株)武蔵野種苗園・ユアサ商事(株)・(株)ユーキフーズ・横浜丸中青果(株)・(株)RAG東京・(有)ワールドファーム

準会員 3社

全国農業協同組合連合会(長野県本部・茨城県本部)・香川県農業協同組合

賛助会員 30社

旭化成(株)・(株)イシダ・石光商事(株)・イフコ・ジャパン(株)・AGSN・NTTビジネスソリューションズ(株)・川口精機(株)・ゲンゼ(株)・興人フィルム&ケミカルズ(株)・小嶺機械(株)・セイカン(株)・(株)大生機械・大和フード&アグリ(株)・タカギ冷機(株)・(一財)CHIKYUJIN・(株)寺岡精工・日建リース工業(株)・(一社)日本料飲外国人雇用協会・(株)日本農業新聞・のむら産業(株)・日立造船(株)・細田工業(株)・ホリアキ(株)・(株)マクランサ・三浦工業(株)・三菱ケミカルアクア・ソリューションズ(株)・吉泉産業(株)・ライオンハイジーン(株)・(株)流通研究所・(株)ワコーパレット



■ お問い合わせについて

野菜流通カット協議会 事務局

【住所】東京都中央区東日本橋 3-6-17 山一ビル4F
一般社団法人 日本施設園芸協会内

【TEL】03-3667-1631 【FAX】03-3667-1632



VEDICA 野菜流通カット協議会
URL: <http://www.vedica.jp>





令和5年度(2023) 事業計画(案)



1. 総会・理事会

- 1) 通常総会……令和 5年 5月10日(水) 14:30 ~ 17:00
KKRホテル東京 会場/瑞宝の間(10F)
総会后、新規賛助会員6社からの取扱い製品等のプレゼン
交流会……… KKRホテル東京 会場/孔雀の間(11F)



- 2) 理事会……… 第 1 回 / 令和 5年 5月10日(水) KKRホテル東京
第 2 回 / 令和 5年 6月20日(火) アットビジネスセンター
第 3 回 / 令和 5年 12月14日(木) KKRホテル東京



2. 研究・情報交換・交流事業

1) 展示会への出展

当協議会が「協賛」する「FOOD展2023(惣菜・デリカJAPAN2023)」へ
野菜流通カット協議会として出展参加を行う
◆ 令和 5年 9月20日(水)~22日(金)・・・東京ビックサイト 東ホール



2) 研修会の開催

- ① 海外研修会……「2023韓国現地研修ツアー」の実施
◆ 令和 5年 5月23日(火)~28日(日)……参加者28名
※カット野菜工場、卸売市場や人工光型および太陽光型植物工場等で
栽培されている葉菜類・果菜類の生産現場等を10カ所視察
※令和6年度の海外現地研修会については、アメリカ(西海岸)で実施予定
◆ (令和6年時期未定)
- ② 国内研修会……視察予定先 : 青果物の冷凍工場、スマート農業実践圃場等
(北海道管内)
◆ 令和 5年秋頃実施予定



- ③ JA全農との個別商談会(情報交換会)の実施
会員間(実需者、JAグループ)でのマッチング機会の提供のため、
申込会員と全農県本部(経済連等含む)との個別での対面商談を
東日本ブロックと西日本ブロックで実施予定
① 東日本ブロック会場: 大手町JAビル32F会議室……… 令和 5年7月27日
② 西日本ブロック会場: 大阪JAビル3F共用大会議室…… 令和 5年8月3日



- ④ 協議会主催のセミナー開催
※協議会会員向けセミナーとして、「鮮度保持に対する考え方」をテーマに
セミナーを実施予定
・開催場所: 東京都内会議室を予定(WEB参加有)
・開催時期: 令和6年1月頃実施予定



- ⑤ 加工・業務用野菜の情報交換会セミナーへの開催
「惣菜・デリカJAPAN2023」会場内でのセミナー・意見交換会
◆ 令和 5年 9月21日(木)・・・東京ビックサイト 東ホールセミナー会場内



⑥ 農林水産省との意見交換会の実施

- ① 加工・業務用関連の次年度以降の補助事業への政策要望を踏まえた
意見交換を、当協議会会員と本省 農産局 園芸流通加工対策室および
農政局を交えて、関西地区で実施する
◆ 令和 5年 11月(実施予定)……会場: 新大阪駅付近を予定
- ② 加工・業務用関連の次年度以降の補助事業への政策要望を踏まえた
意見交換を、当協議会会員等と本省 農産局 園芸流通加工対策室との
間で実施する
◆ 令和 5年 12月14日(木)……会場: KKRホテル東京



3. 調査事業

- ① 令和4年における「カット野菜製造の実態」調査
カット野菜製造の実態及び市場規模等を明らかにするため、平成2年から3年に
1回の頻度で実施しているアンケート調査の実施
- ② 関係省庁・関係団体と連携し、情報収集を行い会員へ適時提供する
関係行政機関、関係諸団体等からの情報収集の実施
- ③ 日本施設園芸協会主催の「令和6年度 園芸関係政府予算案等説明会」への参加



4. その他

- ① 本協議会のホームページの継続したメンテナンスを行い、協議会活動内容を関係機関・
関係者等へ広く発信する
- ② 本協議会の会員募集を積極的に展開する
- ③ 野菜流通カット協議会が主催するセミナー・現地検討会等の事業推進を適切に実施する



令和4年度実施した、
セミナー等の様子

ホクレン研究農場視察&セミナー

情報交換会セミナー

新生成田市場視察&セミナー

スマート農業圃場視察&セミナー

事業成果発表会